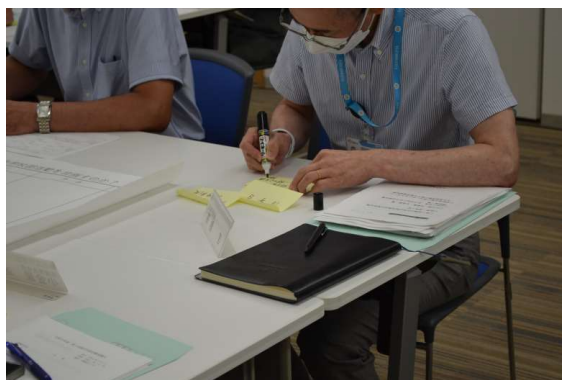
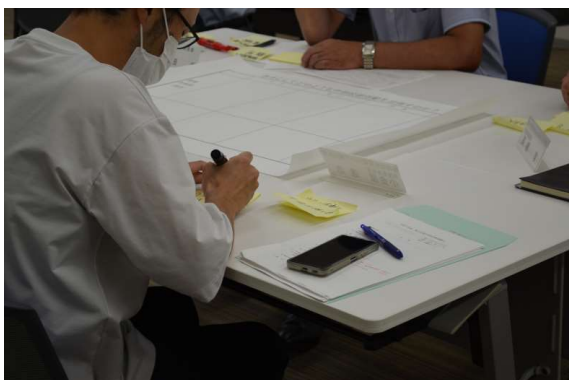


第1回湯沢市部活動協議会記録

R 5. 7. 11 (火)

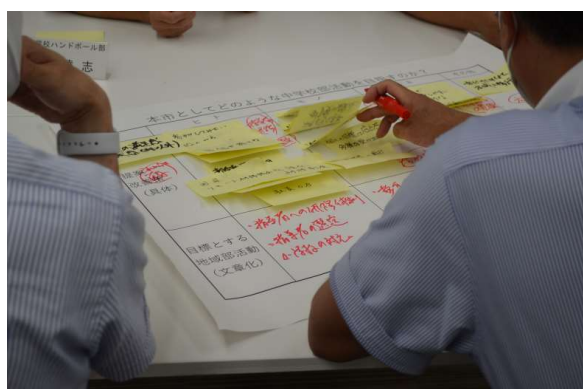
- ・ 委嘱状交付（代理3名）
 - 1 開 会
 - 2 教育長あいさつ
 - ・ 国の提言が出され方向性が決まった。
 - ・ 本市も部活動協議会設置要綱を定め、大枠を形作ってきた。今後、運動部活動・文化部活動の両面において、地域移行に向けたご協議をお願いしたい。
 - 3 事務局員紹介
 - 4 協 議
 - (1)湯沢市部活動協議会の設置について（事務局）
 - (2)会長及び副会長の選任について
 - ※事務局案を基に
 - 会 長：湯沢市スポーツ協会会長
 - 副会長：湯沢芸術文化協会副会長
 - 会長あいさつ「これまでも協議、意見交換をしてきたが、これからは、『湯沢スタイル』を形作れるよう努めていきたい」
 - (3)これまでの協議会等の説明（事務局）
 - (4)意向調査から考察される諸問題について
- 「部活動と休日におけるスポーツ・文化芸術活動に関する意向調査」報告を受けて、各グループで「目標とする地域連携・地域移行」を文章化する
- ①各自で付箋に「提案・改善策」等を書き込む



②各自で書いた付箋の内容を、「説明しながら」シートに貼る



③出された「提案・改善策」などを基に、文章化する



④各グループで協議されたことを発表する



A班：(ヒト) 指導者の持続可能性が課題であるが、解消できると思う。複数配置にできれば、さらに課題が解消される。

活動の目的(勝利を目指す、または楽しむなど)に応じた指導者が必要になってくると思われるが、どんな生徒の要望にも応えられるといい。

(モノ) 活動場所、移動手段が問題。活動拠点を一つにすると、活動場所

場所など、選定しやすいが、そのことによって、移動距離が遠くなる。

(カネ) 公費と保護者負担のバランスが大切になる。

B班：(ヒト) 文化部門のコーディネーターを配置できれば活動しやすくなる。

(モノ) 練習する場所が問題。学校中枢の防犯システムのセット・解除など必要になることが課題。例えば、吹奏楽の練習など、校舎内を使用することになるので、体育館一つだけ利用すればいい運動部活動とは違う関わりが必要になってくる。

(カネ) 楽器の運搬費用、講師への謝金などが課題。どこを活動拠点にするかによって、生徒の移動の問題がでてくる。

C班：(ヒト) 指導者の目的の違いによって、生徒が迷ったり、混乱したりしないようにしなければならない。

現在、部活動は、中学校の教育において大きな役割を占めている。それが、今後、移行されることによって、学校としての教育をどのように醸成していくかが課題である。

(モノ) 移動手段が問題である。

(カネ) 保護者の負担、指導者への補助、さらに本市を超えた活動への対処が大切になってくる。

【グループ協議のために作成されたシート】

	ヒト	モノ	カネ	その他
提案 改善策 (具体)	地域連携 学校と連携 地域連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携
目標とする 地域部活動 (文章化)	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携

本市としてどのような中学校部活動を目指すのか?

	ヒト	モノ	カネ	その他
提案 改善策 (具体)	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携
目標とする 地域部活動 (文章化)	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携

本市としてどのような中学校部活動を目指すのか?

	ヒト	モノ	カネ	その他
提案 改善策 (具体)	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携
目標とする 地域部活動 (文章化)	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携	地域連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携 学校と連携

(5) 運営組織と連携できる団体について

① 湯沢市スポーツ協会（事務局）

各活動の指導者として、「協力できる・できない」は数値としては半々であるが、「できない」と回答した理由などを考えると、全体としては「概ね協力できる」と判断される。

② 湯沢市芸術文化協会

吹奏楽、合唱、陶芸、絵画などの分野において指導できると思う。

③ チャレンジスポーツクラブいなかわ

地域の指導者を活用している。誰でも、楽しく参加できることを主目的にして地域を含めて活性化するよう心がけている。

総合型地域スポーツクラブでできることの一つとして、ジュニア育成なども行っている。今年の湯沢翔北高校野球部で活躍している選手のなかには、本クラブの「ジュニア」部門で活動していた。

④ 音楽のまちゆざわ推進協議会

音楽部門におけるコーディネートはできる。適切な講師の選択、紹介など対応できる。現在は、「月イチコンサート、うどんエキスポ、ゆざわの休日」などの企画・運営を行っている。

会長まとめ

スポ少と同じように、指導者となる方と話をする機会を設けながら、進めていくことが大切であると思う。そして、それぞれの団体で、活動の指導者になるに当たって、掘り下げていくことも必要である。

6 その他

■ 副会長から

先行事例とそこから見えた課題などを紹介してもらいたい

■ 第2回湯沢市部活動協議会

11月中旬～下旬に開催予定

7 閉会

■ 事務局

意向調査を基に、現在の部活動の状況や地域移行に向けての意向やニーズを把握することができました。「ヒト・モノ・カネ」、それぞれ解決しなければならないことがたくさんありますが、本市としては、状況を確認しながら緩やかに進めていきたいと思えます。

そのためにも、協議委員の皆様には、今後も遠慮なく意見をいただければと思います。目指すところは、本市の実情に合わせた、そして本市の児童・生徒にとって最適な地域移行です。